

## 今月の相談室だよりの紙面

2ページ	オンラインアルコール家族プログラム
3ページ	だよりの情報広場 ～当院の地域移行支援の取り組み～
4ページ	新入職員挨拶／催し物のご案内「精神障がい者と家族のための市民講座」 ／自立支援医療制度／心身障害者医療費助成制度（マル障）について／編集後記



### 【当院を利用されているご家族向けの催し】

#### わわわ会、家族懇談会、かけはし

対象：当院を受診したことがある方のご家族、当院の医師や精神保健福祉士による有料相談に来られたご家族  
※アルコール依存症を除く

参加方法：予約制（各回定員があります） 当院2号館1階4番相談受付窓口に来院、または電話で各担当までお申込みください。参加方法をご案内いたします。（☎0422-44-5331 代表）

#### 【つながろう 家族のための わわわ会】

##### オンライン(Zoom)開催

統合失調症等の治療や支援、ご本人との付き合い方について一緒に学び合う場です。1クール5回シリーズですが、どの回からでも参加できます。

日時：5月28日(土) 10:00~11:30

※毎月最終土曜日

テーマ：病気の理解『統合失調症ってどんな病気?』

講師：当院医師

内容：各回、講義と質疑。

定員：各回 15名まで

費用：無料 テキスト(5回分含)をご希望の方は相談窓口(4番)で販売中(500円税込み)

今後の予定：6/25(土) 10:00~11:30

お薬の理解『薬の作用と副作用』

予約制

#### 【家族懇談会】オンライン(Zoom)開催

ご家族の日頃の悩みや気になっていることについてスタッフも一緒に考える場です。

ご家族自身の気持ちを話したり、他のご家族の体験談を聞き、その中でご家族自身の気持ちを整理したり、つながりを感じていただければと思っています。

日時：5月28日(土) 14:00~15:00

(13:45受付開始) ※毎月最終土曜日

定員：8名まで

予約制

#### 【家族セルフヘルプグループ かけはし】対面開催

新型コロナウイルス感染症拡大状況により、中止となる場合があります。当院ホームページ「新着情報」を、開催日前日にご確認または、事前にお問い合わせください。

日時：5月14日(土) 14:00~15:00

※毎月第2土曜日

内容：家族による家族のための相談例会です。定員：10名

予約制

#### アルコール関連

対象：当院を受診したことがある方のご家族、当院の医師や精神保健福祉士による有料相談に来られたご家族

参加方法：予約制 参加ご希望の方は当院のホームページよりお申込みください。

(トップページよりご来院の皆様へ→ご家族向け→家族教育プログラムまたは家族ミーティングの「参加方法」より予約フォームへアクセスしてください。)

※ 詳細や実施状況については当院ホームページをご覧ください

#### 【アルコール家族教育プログラム】

##### オンライン(Zoom)開催

アルコール依存症に関する医師と精神保健福祉士による講義をオンラインで月2回配信しています。

日時：5月7日(土)・21日(土) 10:00~11:10

※毎月第1・第3土曜日

内容：第1週 アルコール依存症とその治療について (担当：医師)

第3週 アルコール依存症からの回復と社会資源 (担当：精神保健福祉士)

予約制

#### 【アルコール家族ミーティング】

##### オンライン(Zoom)開催

ご家族自身の気持ちを整理し、ご本人との関係を見直すことを目的としています。ご家族同士のつながりのなかで癒されることを実感していただいています。

日時：5月21日(土)

11:15~12:00

※毎月第3土曜日





# オンラインアルコール家族プログラム

を実施しています！



当院では新型コロナウイルス感染症の流行前から、アルコール依存症のご家族向けのプログラムを実施してきました。一昨年度より、感染対策のため対面開催ができなくなったため、オンラインに切り替え、「アルコール家族教育プログラム」そして「アルコール家族ミーティング」を再開することができました。

今回は、現在実施されているアルコール家族プログラムの実施状況についてご報告を致します。

## アルコール家族教育プログラム

オンラインで家族教育プログラムを開催するようになり、1年が経ちます。この間に担当スタッフも練習と実践を重ね、機材の設定に慣れてきました。現在は、毎月第1土曜日に医師による「アルコール依存症とその治療について」と、第3土曜日に精神保健福祉士による「アルコール依存症からの回復と社会資源」の講義を行っています。

講義中の参加者のご様子がわからないため、伝わっているかな？と不安になることもあります。その後の質疑応答でやり取りをすることもでき、ご家族がどんなことに不安や心配を感じているのか教えていただいています。オンラインのよさとして、遠方に住むご家族も参加が可能になったことがあります。どんなに離れて住んでいても、やっぱりご家族はご本人のことが心配なのだということをあらためて認識し、病院から発信していくことの意義を感じています。

ご家族が病気について学び、対応方法を身につけること、なによりご家族自身の心身の健康を取り戻すことが、ご本人の回復につながります。参加方法がわからない方にはもちろんお伝えしますので、興味のある方は遠慮なくスタッフにお声かけください。最初の参加はハードルが高いかもかもしれませんが、スタッフみんなで歓迎いたします！どうぞお気軽にご参加ください。

## アルコール家族ミーティング

オンラインでの家族ミーティングでは、毎回2～3つのテーマを決め、テーマから感じることを自由にご家族にお話しいただいています。他のご家族の話や聞くこと、そしてご自分の話をする事で“癒し”を得ていただくこと、また家族自身が回復するヒントを得ることがこのプログラムの目的です。

プログラムの準備段階では、対面で実施していたときよりもミーティングの時間が短くなっていたり、オンラインという環境で、皆さんに十分お話しいただけるかどうか、スタッフも不安に思っていました。

しかし、実施後には、「以前と違う形でもこのような場があることが嬉しい」とのお声も多く、スタッフからも「このような場があって良かった」「スタッフにとっても勉強になる」との意見もあり、改めて家族ミーティングの良さを再確認することができました。

これからもより参加されたご家族にとってより良いものとなるよう継続して実施できればと思います。

### これまでにミーティングで扱ったテーマ

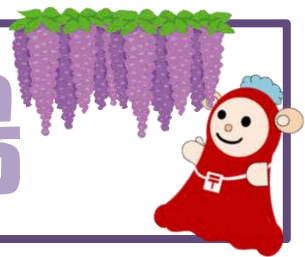
- ・自分がストレスに感じることとその対処法
- ・あなたにとっての柱は何ですか？ など



初めての方は、  
聞くだけの参加も  
OKです！

「オンラインアルコール家族プログラム」に興味を持たれた方は、相談室だよりの1面、もしくは当院のホームページにて詳細をご確認いただき、お申込みください。皆さまのご参加をお待ちしております！（ま）

# だよいんの情報広場



当院では、入院患者様の地域移行支援(退院支援)に積極的に取り組んでいます。院内で多職種チームを組み、地域の支援者とともに、入院患者様の地域移行を進めています。

今回は、相談室と地域連携室の精神保健福祉士より、『地域移行支援』について、どのような役割を担っているのか、どのようなことを考えて取り組んでいるのか等、お伝えしたいと思います。

## 地域移行支援は「つながり作り支援」

当院では入院患者様が住み慣れた地域に戻れるよう丁寧な支援を行っています。その際、院内多職種による支援だけではなく、地域の支援者とも積極的に連携しながら地域移行支援に取り組んでいます。

連携している機関は多岐にわたり、精神医療保健福祉分野では訪問看護、デイケア、相談支援事業所や就労支援事業所、地域活動支援センター、高齢分野ではケアマネージャー、地域包括支援センター、行政では福祉事務所や障がい福祉課、高齢者支援課、権利擁護関係では各自治体の成年後見センター、お子さんがいる家庭ですと子ども家庭支援センターや児童相談所など、正直とても書き切れません。

では、なぜ他機関と連携して地域移行支援をするのでしょうか。入院治療の目標は当然、病状の改善ですが、退院後の再発予防やリハビリテーション、さらには社会に参加しご本人らしい生活を送ることがとても大切だと思います。

そのためには退院後に地域の中で孤立せずに暮らすことが必要であり、様々な支援者や地域関係機関が入院中から協働し地域移行支援を行うことは、患者様が安心できる「つながり作り」だと考えます。

相談室 前沢



## 病院全体で取り組む地域移行支援



地域連携室は、院内の地域移行支援が円滑に進むよう体制を整える役割をしています。当院には地域移行支援委員会が設置されており、医師、病棟看護師、作業療法士、デイケアスタッフ、医事課職員、精神保健福祉士が委員を務めています。委員会では、毎月、院内の地域移行支援状況の共有や事例検討などの活動を行い、日々の支援に活かしています。地域連携室はこの委員会の事務局を担っており、地域移行支援に関する院内研修やイベントの企画運営なども行なっています。昨年度は新型コロナウイルス感染症の影響で長らく中止となっていたピアサポート活動をオンラインで実施できるよう準備し、活動を開始しました。

また、お世話になっている相談支援事業所や市役所の障害福祉課、精神保健福祉センター等にお声掛けし、「地域移行・地域定着支援関係者懇談会(相談室だより第416号参照)」を毎年開催し、当院の地域移行支援について知ってもらう機会をつくっています。これらの取り組みを通して患者様への支援がより良いものとなるよう、地域移行支援に携わる院内外のスタッフとの連携に日々努めています。

地域連携室 原



## 新入職者ご挨拶

4月から相談室に入職した松本理恵（まつもとりえ）です。この1か月間様々な方に助けていただきながら勉強しております。これから出会う方々と一緒に成長していけるようなソーシャルワーカーを目指して頑張ります。病院内で見かけたらぜひお声がけください。宜しく申し上げます。趣味は映画鑑賞です。おすすめがあったら教えてください。

## アルコール外来の初診について

令和4年4月1日よりアルコール外来の初診は、事前に予約を取る必要がなくなりました。初診の方は、診療時間内（土・日・祝日・年末年始を除く平日9:00~12:00）に保険証と紹介状（他の医療機関から転医される場合はお持ちください）を持って1番初診受付までお越し下さい。なお、予約制ではないためお待ちいただく場合がございます。ご了承ください。よろしく申し上げます。

## 催し物のご案内

### 精神障がい者と家族のための市民公開講座

『みんなで統合失調症を学ぶ～当事者や家族だけで悩まない社会に～』

【日時】 2022年5月15日（日） 13:00~ 15:30 オンライン開催

◆講演◎《司会》久住 一郎氏（北海道大学大学院医学研究院 神経病態学講座精神医学教室 教授）

講演1：統合失調症の病態、治療について《講師》糸川昌成氏（公益財団法人 東京都医学総合研究所 副所長）

講演2：当事者、ご家族の体験談

講演3：地域で暮らす課題、問題解決のための支援や社会資源について《講師》坂本祐子氏（社会福祉法人サンワーク南八幡メンタルサポートセンター 施設長）

◆Q&Aセッション（質疑応答）

【参加費】無料 【定員】500人 【申込方法】事前のお申込が必要です。下記URLよりお申込ください。

【申込締切】2022年5月13日（金）13:00

<https://entry.smktg.jp/public/application/add/3621>



【お問合せ】「精神障がい者と家族のための市民公開講座」事務局 Email:workstyle-seminar@withus-inc.co.jp

## 自立支援医療制度をご存知ですか？

「自立支援医療」とは、統合失調症、そううつ病、うつ病、アルコール依存症等について、通院医療の際にかかる医療費の一部を公費で負担する制度です。利用すると、自己負担額は保険診療の1割となります（注：登録した医療機関や薬局、訪問看護ステーションに限ります。なお、当院は院外処方です）。また、対象者の「世帯」の所得等に応じて1ヶ月の自己負担の限度額が設定されており、さらに、都内在住の方は、「世帯」が非課税の場合、申請により自己負担額がゼロになります。更新は1年ごとで、2年に一度診断書の提出が必要になります。当院での診断書料金は5,500円（税込み）です。お住まいの自治体によって、独自に診断書料金の助成が受けられる場合があります。

## 心身障害者医療費助成制度（マル障）をご存知ですか？

精神障害者保健福祉手帳1級をお持ちの方（※）は、申請により「マル障」が利用できます。「マル障」を利用すると、医療機関での（精神科以外でも）外来・入院にかかる保険診療の自己負担が1割となり、住民税非課税の方は自己負担が免除となります（ただし、入院中の食事療養費は対象外）。

※所得が基準額を超える方、生活保護受給中の方、65歳までに手帳の申請をしなかった方は対象外です。

少しずつ新しい環境にも慣れ、疲れが出てくる時期ですね。皆さまどうぞご自愛ください（し）

ホームページでも相談室ごよりの最新号やバックナンバーをご覧いただけます

併之町病院ホームページより「精神保健福祉相談」→ 相談室ごより「ダウンロード」をクリック